

 1回(昭2年卒)～  
23回(昭24年卒)  
卒業生2,835名

 1回(明43年卒)～  
39回(昭24年卒)  
卒業生3,327名

 1回(昭23年卒)～  
59回(平19年卒)  
卒業生26,925名



双鶴同窓会報  
 発行〒624-0841  
 京都府舞鶴市引土145  
 京都府立西舞鶴高等学校  
 双鶴同窓会  
 ☎(0773)75-3131

編集 松田 潔  
 責任者 田中 啓介  
 印刷 オガワ印刷



Image © 2007 TerraMetrics  
 Image © 2007 DigitalGlobe

© 2007 ZENRIN

ポイント 35° 26'18.22" N 135° 19'39.54" E 高度 6m ストリーミング 100%

上空 116m



# 創立百周年を迎えて



双鶴同窓会会長 金村 九二夫

会員の皆様、平素は双鶴同窓会の活動につきまして、何かとご尽力いただきまして有難うございます。

母校西舞鶴高校がその前身加佐郡立女学校から数えて今年の四月で百年を迎えました。郡立女学校の創設の経緯につきましては、再三記述されておりますので、省略させていただきますが、改めて歴史を振り返りたいと思います。明治四十年に創設された舞鶴女学校、大正十一年に創設された府立舞鶴中学校と合わせ、昭和二十三年四月一日に旧制の中女両校が学制改革により京都府立西舞鶴高等学校となりました。又同年双鶴同窓会も発足いたしました。

私は当時舞鶴中学校に終戦年敗戦色濃い昭和二十年に入學し、旧制の四年生になるところで、新制高校の一年生となりました。同年の十月には西舞鶴女子高等学校と統合して現在の西舞鶴高等学校となり、三回卒業生として通算六年間の長きにわたり青春を過ごし、母校にお世話になったことになりました。急速に改革されたため、数え切れないエピソードが思い出されます。統合から五十九年、旧制の両校が多くの先輩の方々の若くしての戦死や苦難の人生をおく

られた事を、身近の方々を通して知っておりますが、戦後の西高の方がより永い歳月が経ちました。旧制最後の卒業の一番若い先輩の方々でも喜寿を迎えられるようになりませんでした。

同窓会でも何か「百周年の記念事業を」と早くから種々検討してまいりました。しかし、今回の企画の中で、実利的なものを公立高校に寄付することが如何に難しいかを痛感させられました。百周年実行委員会で種々ご検討いただきました結果、西舞鶴高校の校歌碑を正面玄関に建てることになりました。揮毫していただくのは当校の大先輩、京大の総長をされた岡本道雄先生にお願いすることに。既に原稿を頂き石材屋に渡すところまでできております。

先刻ご承知のように、岡本道雄先生は昭和六年舞中五回のご卒業で、京都大学の学長のみならず、臨時教育審議会会長として戦後日本の教育の方向を定める、重要な要職に就かれてきました。校歌碑の揮毫者として最適な方と考えます。西高の校歌は統合四周年の記念として当校舞中九回卒業の四方重衛先生作詞と言われておりますが、高校三回卒の私は知らずに卒業しました。もつとも当時の国語科の先生方の合作で四方先生が代表で作詞者になられたという説も

話で定かではありません。因みに作曲は音楽の田中光子先生のお骨折りで、東京音楽大学の多くの新制高校の校歌を作曲された下総院一先生にお願いされたと聞いております。

この校歌の碑が後輩の生徒達にとつて有意義なものでありますことを祈ります。

さて、時節も時節ですので、近隣の高校のように多額の寄付を集めて派手な祝賀の事業をすることは無用と考えますが、日本のみならず海外にも実社会で活躍していただける同窓生、又これから卒業してくる後輩たちに、青春の三年間机を並べ、共に部活動に汗を流した同窓生が貴重な人と人との繋がりにありますよう、同窓会が手助けと付き合ひの場を創れたらと思う次第であります。舞女、舞中の先輩方々から、同期会の集まりも難しくなり「行事は高校部会にまかせろ」とのお声を戴く始末となりました。当会の運営のあり方も考えなければならぬと思う昨今であります。

良き伝統を維持するのも同窓会の大きな使命ですが、特に無形のものには風化しない内に、次の世代に伝えたいものです。時々の活動は時代とともに、学制の変遷と共に、会員の皆さんの考え方も変わります。それには若い世代の評議員を幅広く増やし、本部役員も高

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会運営にご支援ご協力頂きまして有難うございます。

本同窓会は、三月一日に平成十八年度卒業生二九九名を新たに迎え入れました。会員の増加は同窓会活動において大きな原動力であり、組織発展のために大変有難いことでもあります。本同窓会は、舞女・舞中・高校の卒業生、会員総数三万名を超え、全国各地で活躍されております。

本部の他に、東京支部、阪神支部、京都支部が組織されており、支部では二年に一度支部総会が開催されております。

さて西舞鶴高等学校は、明治四十年京都府加佐郡立高等女学校として開校以来、舞女・舞中・

## いよいよ100周年 平成19年10月13日(土)

記念式典：舞鶴市民会館  
祝賀会：舞鶴西総合会館



理事長 林 田 光 弘

創立百周年実行委員会を設置し、金村九二夫同窓会長、小西千春実行委員長を中心に、意義ある百周年にするため、これまでに十一回の実行委員会を開催し鋭意準備を進めております。記念式典会場は、生徒も参加できるよう配慮して舞鶴市民会館とし、祝賀会は、舞鶴西総合会館で開催致します。

また、記念事業等の費用については、時節柄、寄付金は募らず卒業30周年等で頂いた寄付金の特別会計および名簿発刊特別会計の二つの特別会計やPTA、舞中五宿会、舞女部会等からの協力金など貴重な資金を使わせて頂き、祝賀会には会費制と致します。

実行委員会で、会場の都合や費用の関係で全会員に案内する事はできませんが、各学年の評議員の方々に、是非ご出席いただきたく考えております。

会員の皆様方には、今後とも、同窓会運営に対してご理解とご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



企画も古き良きものは残しつつも、新しい若い力と創意工夫で盛り上げて戴かねばならないと考えるのであります。

本同窓会では、平成十六年に



# 御 挨拶



校長 北野 茂

双鶴同窓  
会の皆様  
におかれま  
しては、ま

すまずご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に對しまして温かい御理解・御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の十月に行われる学校創立百周年の日が迫って参りました。明治四十年加佐郡立高等女学校開校、大正十一年京都府立舞鶴中学校開校、爾来、明治・大正・昭和・平成の時代を通じて、常に京都府北部の中核校として、多くの有為な人材を輩出してきたこ

と、西舞鶴高校にゆかりのある者にとって大変心強く、また、誇りとするとところでは、この西舞鶴高校を支えていただいた幅広い年代の方々とともに、心から母校の百周年を祝したいと思えます。現在同窓会長様を始め、多くの会員の皆様御協力のもとに、着々と準備を進めていただいているところ

です。盛大に母校の百周年を祝うことができそうです。皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

今学校は教育改革の真っ只中にあり、各学校は地域から信頼される学校づくり、「学校力」を高めることが求められています。私たち教職員一同、西舞鶴高校の輝か

学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

です。学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

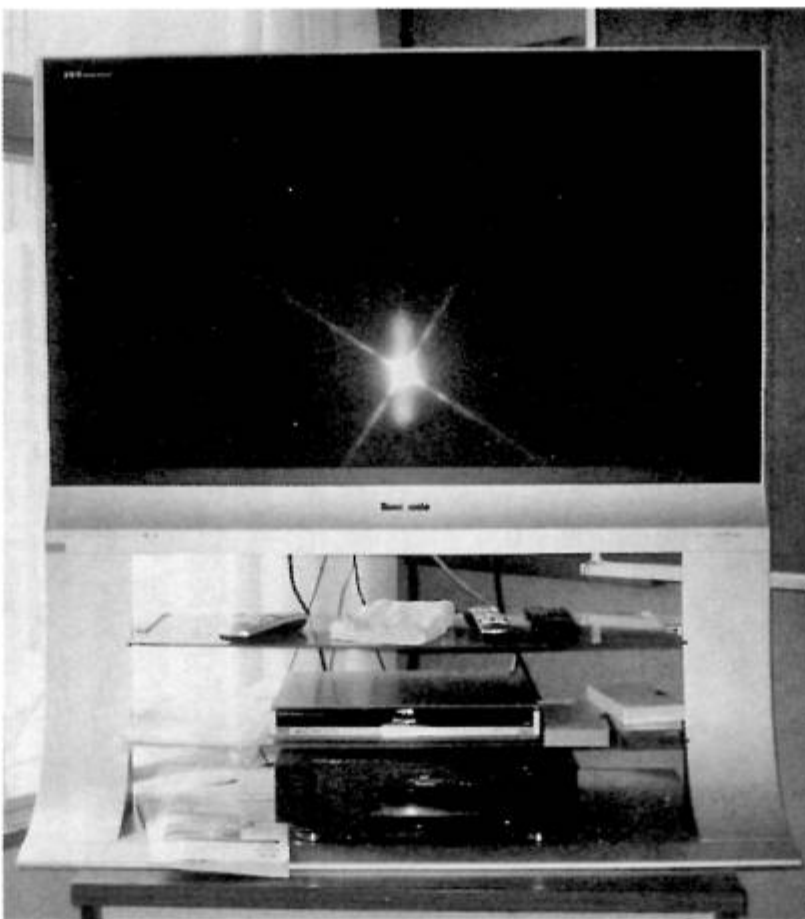
学校創立百周年の年を迎えるに当たり、西高の伝統である「質実剛健」、「文武両道」の精神を今一度思い起こし、さらなる百年に向けて新たな伝統をどのような形で創造していくか、教職員・生徒一同力を合わせて学校づくりを進めようとしていくところ

普通科はⅠ類5学級・Ⅱ類文理系1学級となり、さらに数学・理科教育に特化した専門学科「理数探求科」が2年目を迎えました。この新生西舞鶴高校には、新しい時代に即した府北部の拠点校として重要な役割を果たすよう、各方面から大きな期待が寄せられています。

## 100周年実行委員会

同窓会 会長	金村	小林	南	土市	藤	岸	飯	神	岸	上	谷	楠	柿	山	藤	森	齊	三	村	大	谷	上	神	小	木	大	志	竹	水	寺	北	井	奥	竹																																																														
100周年実行委員長	九	千	光	房	隆	修	由	真	幸	昭	玉	千	文	德	堯	伊	邦	友	香	惠	隆	津	利	義	俊	良	隆	和	宏	克	俊	康	正	尚																																																														
副実行委員長	二	夫	春	弘	夫	文	一	美	澄	子	夫	哲	枝	子	範	栄	之	雄	夫	幸	苗	子	三	子	彦	信	一	信	彦	和	己	男	茂	宏	宜	行																																																												
記念式典部会 部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
記念誌部会 部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
記念事業部会 部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
祝賀会部会 部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
副部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
副部会長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
元校長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
副校長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
副校長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
副校長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24
事務長	高	校	3	舞	中	19-1	高	校	17	高	校	9	高	校	9	高	校	17	高	校	17	舞	中	19-2	舞	中	19-1	舞	中	20	舞	女	31	舞	女	35	高	校	21	高	校	6	高	校	2	高	校	11	高	校	20	高	校	17	高	校	11	高	校	13	高	校	15	高	校	18	高	校	19	高	校	20	高	校	21	高	校	14	高	校	14	高	校	15	高	校	15	高	校	11	高	校	18	高	校	24

## 昨年度 多額の御寄付をいただきました



双鶴会館用の大型薄型テレビやトレイニングルーム等に使用させて頂きました。

しい歴史と伝統を尊重しつつ、二十一世紀に活躍する人材を育成すべく、新しい学校づくりに努力していく所存です。今後とも皆様方の温かい御理解・御支援をお願いします。

いたします。

結びにあたり、双鶴同窓会の皆様のお祈り申し上げます。御挨拶といたします。



# 平成十八年度 総会開催

平成十八年度評議員会が六月十日に、舞鶴グランドホテルで開催されました。会員約百名が参加し、事業報告・会計報告・監査報告がなされました。

評議員会後に、ニューオリンズレッドビーンズ(高校二十三回池本徳和様他)による演奏があり、その後の懇親会が大いに盛り上がりました。



## 双鶴同窓会本部役員

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 会長 金村九二夫 (高3)    | 舞中 部長 西村和夫 (高25)   |
| 副会長 岸本真澄 (中19-2) | 舞女 部長 松田潔代 (高33)   |
| 飯尾幸子 (女32)       | 高校 部長 野田和健 (高37)   |
| 南房夫 (高9)         | 高校 副部長 岡本健 (高49)   |
| 滝隆信 (高14)        | 高校 副部長 長倉脩 (高54)   |
| 大市修一 (高17)       | 高校 副部長 辻本真千子 (高31) |
| 藤岡由美 (高17)       | 高校 副部長 淡路末子 (女34)  |
| 林田光弘 (高17)       | 西村和夫 (高25)         |
| 理事 長 齊藤友幸 (高20)  | 松田潔代 (高33)         |
| 副理事長 阪宏 (高23)    | 野田和健 (高37)         |
| 庶務理事 安岡由紀乃 (高30) | 岡本健 (高49)          |
| 山下尚幸 (高35)       | 長倉脩 (高54)          |
| 秋本友子 (高40)       | 辻本真千子 (高31)        |
| 高井奈都 (高50)       | 淡路末子 (女34)         |
| 会計理事 橋本陽子 (高27)  | 校 長 西村和夫 (高25)     |
| 監査 藤田伊佐雄 (高2)    | 事務 長 松田潔代 (高33)    |
| 顧問 寺田俊男 (高11)    | 全日制 副校長 野田和健 (高37) |
| 北野茂 (高18)        | 通信制 副校長 岡本健 (高49)  |
| 竹村尚行 (高24)       |                    |
| 井関康宏             |                    |
| 奥野正宜             |                    |

## 双鶴同窓会各支部役員

- 【東京支部】**  
 支部長 井田邦弘 (中19-1)  
 事務局 長 浜野正人 (高15)  
 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-10-22  
 内田慶子様方 ☎ 03-3941-8304 (自)
- 【京都支部】**  
 支部長 小田彬人 (高4)  
 事務局 長 瀬野一司 (高15)  
 〒611-0024 京都府宇治市琵琶台1-15-2  
 ☎ 0774-23-4924 (自)  
 ☎ 075-441-8580 (職)
- 【阪神支部】**  
 支部長 鈴木滋 (高8)  
 事務局  
 〒662-0813 西宮市上甲東園3丁目9-19  
 ☎ 0798-51-2458 (自)
- ◎定時制の会会長 植村英人 (定3)  
 ◎通信制の会会長 河野正一 (昭61通)



# 「羽ばたけ! 商業科」

学科部長 大槻義和

平成十八年度より募集停止となり、現3年生が来春卒業しますと同時に、伝統ある西舞鶴高校商業科の幕を降ろすことになりました。西高商業科で学び、素晴らしい伝統を築きあげられた先輩諸氏のお気持ちを考えると、たいへん残念な気持ちです。今年度は、西高創立百周年という晴れ晴れしい記念すべき年であり、いくつかの事業も計画される中、静かに幕を閉じる「商業科」。実社会で活躍できる有為な人材を数多く輩出してきた商業教育の果たす役割も、まだまだ残されていると考えていた矢先のことでした。

「時代の変化に対応した教育」は、商業教育の使命であると考えています。厳しく変動した戦後社会の変化に即応し、商業科では、事務のOA化・情報化教育も推進し、また、昨今の進学志向にも対応すべく、努力を重ねました。商業の専門科目を3年間しっかり学習することによって、4年制大学への進学も可能であり、昨年度は国立大学への進学も勝ち取ることができました。

このように、商業に関する専門知識の基礎・基本を西高商業科で培い、さらに生涯にわたって継続的に学習し、スペシャリストとして歩んでいくことは素晴らしいことです。先輩諸氏の切り開かれた道を、最後まで突き進むべく、残された現3年生とともに漸進していきたいと思います。

これまで「西高商業科」に頂いた多大な御支援・御指導に感謝を申し上げますとともに、現3年生が大きく羽ばたいてこの西高商業科を卒業していくまで、あとしばらくよろしくお願ひ申し上げます。



# 30周年に乾杯!

## 第28回卒業生

### 西高卒業30周年記念

### 「夢のつづき」最高!

西舞鶴高校第28回卒業生のみなさん、ありがとうございます。ごさいました。「夢のつづき」をテーマにして、久しぶりの顔を合わせて、話しをして、一気に30年前に若返った気分になったのは私だけではなかったと思います。そして、あのかのときの夢をお互いに確認できたのではないのでしょうか。みなさんはそれぞれの世界で重要なポジションにおられると思いますが、これからは今回確認できた「夢のつづき」に向かって一層頑張りましょう。

また近いうちに「夢のつづき」の報告会が開催できることを希望し、みなさんのご健康、ご多幸をお祈りいたします。

後になりましたが、中心となって準備してくれました、米山君、村田君、百田君、森脇君、長内君、斉藤（多田）さん、伊藤さん、そして各クラス実行委員のみなさん、お世話になりました。ありがとうございました。

(28回卒業生卒業30周年記念同窓会会長 南部 正治)



3組



2組



1組



6組



5組



4組



9組



8組



7組



11組



10組



# 卒業50周年記念同窓会



▲ 高8回（昭和31年卒業） 八鶴会（卒業50周年記念） 平成18年6月9日 於 ホテルグランヴィア京都

▲西舞鶴高校を卒業して早くも半世紀。50周年は全国規模で盛大にということ、JR京都駅内のホテルを会場にしました。総勢109名は記念撮影のあと、この日を待つことが出来なかった物故者35名にまず黙祷。それから5時間余り、50年振りの方もあつて名札を確かめながら、人を替え席を移して、この長い歳月のあれこれに話しが尽きないのでした。それぞれに年輪を重ねて68才69才の初老と相成り、こうしてこの場に集えたことに感謝した良き日でした。  
（高橋聰子）

## 卒業50周年の記念植樹と集いを開催

高校10回生の「十期の会」は今年で卒業50周年を迎えました。

そこで、この半世紀に亘る人生を歩んできた「証」と次の世代へメッセージを残そう!との思いを込めて、卒業50周年の記念植樹と記念碑の設置を決定。

植樹式は卒業式があつた3月8日、舞鶴公園に実行委員34名が出席して開催。50年ぶりに「仰げば尊し」を斉唱したあと、思い出深い公園の天守台石垣東側に「仙台しだれ桜」（樹齢25年、高さ6m）を植樹して、舞鶴市に寄贈しました。

また、5月22日には、天の橋立ホテルで一泊の「卒業50周年記念のつどい」を11名が参加して、盛大に開催。記念植樹と石碑設置を報告しました。

（十期の会代表 村尾幸作）



▲ 高10回 十期の会（卒業50周年記念） 平成19年3月8日 於 舞鶴公園

▶ 高校卒業50周年目を迎えて「舞鶴に生まれ学んだ証を残そう!」と同期生の願いを込めて「しだれ桜」を昭和33年3月の卒業式の日である3月8日に舞鶴公園に植樹し舞鶴市に寄贈した。植樹式に集まった仲間と桜をバックに。



平成18年度の  
**集い**  
みんな元気で  
頑張ってます!!



▲舞女 33回 美々会 「若返る至福のひとつとき!!」 平成18年4月 京都にて



▲双鶴十九会（昭和19年入学）東京大会 平成18年10月23日 於 横浜ホテルニューグランド

世話人  
森脇邦夫  
塩根 武  
大森義子  
柏原富枝  
菊岡輝應

「伊佐津川 さざめきながら」、西舞校出身者であれば誰でも忘れることのない懐かしいフレーズの下、商業科6組・7組 第11回（昭和34年3月）卒業生が48年振りに、平成18年10月27日（金）舞鶴グランドホテルで、男性22名女性15名、計37名が集い当時を語り合いました。再会した時、誰であるか即座にわかる氏、顔はわかって名前が思い出せない氏、高校時代を思い出し肩を叩き、誰であったかを確かめながら元気であったことを喜び、そして心は卒業当時にタイムスリップしてしまいました。

また、一方では健康を損ねた者同士が慰めあい、大病であった事を自慢しながら今現在健康を取り戻して、これからの人生を楽しく生きるよう誓いあう者もあり、それぞれに懐かしく、楽しい一時を過ごしました。

2009年（平成21年）は、第11回にとつては、卒業50周年を迎える年になり、それまで皆元気で60才後半を謳歌し、この時に再び会を約束して、「楽しさ」「懐かしさ」の余韻を残しながら笑顔で別れる事が出来た事を報告させて頂きました。

## クラス会開催報告

（第11回 西高商業科6組・7組）



▲高11回 卒業生同窓会（商業科）平成18年10月27日 於 舞鶴グランドホテル





### 東京支部

東京支部は、07年11月11日(土)四谷駅前プラザエフで支部総会を催しました。この日は大阪芸術大学教授瀬野光子さん(高昭37年卒)のソプラノリサイタル(ギター伴奏増井友氏)で幕をあげました。瀬野さんは「浜辺の歌」「この道」「赤とんぼ」などのあと舞女校歌「みやびのほまれとこしえに」をすばらしいソプラノで歌ってくださり、さらに茨木のり子の「私が一番きれいだったとき」などの詩を情感をこめて朗読してくださり、心ゆたかなひとときを共有しました。懇親会では、阪神支部副支部長の久保善廣氏(中520年卒)の得意のクラリネットで校歌、応援歌などの熱演で大いに盛り上がりました。参加者は林田悠紀夫大先輩(91歳)をはじめ舞女・舞中出身者も多く一〇〇名を超えました。高校出身の若い人たちがさらに増えることを期待します。

母校百周年の今年は、6月28日(木)に上野「梅の花」で舞女・舞中部会を催す予定です。

首都圏在住の会員の結集をさらに強めて、母校へ、そしてふるさと舞鶴へのあつい思いを高め

### 阪神支部

平成17年11月3日、117名の参加を得て、第16回阪神支部総会を開催してから2年を経ました。今年は2年1度の当支部総会の年ですが、母校百周年と重なるため、昨年からの準備を進め、次のことが決定しています。

11月4日(日) 12時〜15時  
ホテルグランピア大阪

講師 高橋聰子氏(高8回・舞鶴市文化財保護委員)

講演 仮題「舞鶴の歴史と母校の一〇〇年」

当支部会員数は平成17年時で約二五〇〇名ですが、総会案内は費用の関係上、出席率を勘案して最近の高40回以上に送付して来ませんでした。今年は更に若い世代にまで幅広く案内し、出来るだけ大勢で母校一〇〇周年を盛大にお祝いしたいと考えています。

当支部総会の参加者は、平成5年には256名もありましたが、中学・女学部の減少に伴い目立って減少してきました。これに歯止めをかけるべく、評議員の拡充を図っています。その一環として、昨年卒後30周年等舞鶴で開かれる同期会に支部代表を派遣し、評議員の選出と支部評議員会への

### 京都支部

2年に一度の支部総会は、18年6月25日(日)、京都駅ビルのホテルグランピア京都、竹取の間で会長、校長、役員、東京、阪神の支部長

出席を依頼することを始めました。これらの努力が、今年の総会に反映されることを期待しています。今後ともこうした活動を継続していきますので、本部役員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。(支部長 鈴木 滋)

役員のご来賓をお迎えし、70名余で開催。大先輩の岡本道雄先生も車椅子でご参加いただき、全員厚誼を深めました。

支部長人事は、8年間おつとめいただいた太田九人男さんから、小田彬人にバトンタッチされました。私共役員のつとめは、会員各位に、出逢いと感動の場の提供であり、全員で楽しんでいただくのがモットーであると考えます。皆様方の倍旧のご支援をお願い致します。

平成15年4月の立山アルペン旅行から、恒例となりました支部の旅は総会後も2回行いました。18年11月5日〜6日、山代温泉雄山閣泊り、秋いろの白山スーパー林道と世界文化遺産、白川郷の旅。19年4月9日〜10日、宇奈月温泉延対寺荘泊り、北陸の花と雪の立山の旅を楽しみました。

詳しくは、別文の京都支部旅行記をご一読願えれば幸甚です。



### 京都支部旅行記

18年11月5日(日)、京都駅集合、昼前の北陸線特急で、秋いろの白山林道と白川郷の旅に出る。加賀温泉駅までの2時間、恒例の居酒屋「そうかく」も開店、ゆったりとした席でにぎやか。

山代温泉・雄山閣に早々と到着、各々に散策、見物、そば、温泉を楽しみ、夕刻より大宴会、なじみ同士、応援歌・舞鶴小唄等で盛り

舞中部会  
盛んな同期会に  
想うこと

舞中部会の諸先輩の同期会は、



▲紅葉の白山スーパー林道と世界文化遺産白川郷合掌村の旅 白川郷にて 平成18年11月6日

上り、唱歌もみじの合唱で中じめ。翌日は雨を心配しながら、紅葉見物の日。手取溪谷から白山スーパー林道(11月10日から冬期封鎖)のもみじと滝の見物、特にスーパー林道の山肌全山をいろどる、もみじの錦の美しさと雄大さに大感動。

霜葉は二月の花よりも紅なり

世界文化遺産、白川郷では名物のどぶろくを少々すこして大満足。雨にもあわず、しあわせな同窓の旅でした。

京都支部長 小田彬人



すぐ盛んなものであった。特に3回生の昭4会、5回生の五宕会、6回生の六興会は驚くばかりで全国に散らばる級友のお世話で各地で開会され、会誌もそれぞれ手作りで毎回出されて同窓会へも送っていただいた。卒業30周年、40周年、50周年、60周年、70周年と続いたが、最近では会員の高齢(95歳)化で開会断念と同期会の基金を双鶴同窓会に御寄付いただいたりもしている。

私達舞中19回生の群鶴の会も負けずおとらず同期会等盛んで、昨年卒業60周年記念集會を宮津ロイヤルホテルでもてた。甲種飛行予科練習生として急降下の練習中宮津湾で訓練死した同期生の「わだつみの声」を聞き、平和を祈った。昭和22年初回以降31回も同期会を重ね、会誌も4冊出せた。

同期会ではただ過去を追慕し昔に執着するだけでなく、互いに加齢からくる衰えに「起てよ起て」と激励のエールを交換しあい、嘗て培った舞中精神の「青年の意気、親切」「自治協同」を失わずにまだまだ未来に希望を失わずに金銭や名譽欲に関わりのない自分に適した趣味を愛する生き方等をお互いに学び合って、美しい生き方の出来る翔ぶ群鶴を目ざしたいと願っている。

(舞中部会 岸本真澄)



### 舞女部会

明治40年、加佐郡立高等女学校が創立されてから今年が百周年を

迎えます。双鶴同窓会では数年前からその式典や事業について実行委員会が結成され準備が進められています。舞女部会からも実行委員を出し、学校、舞中部会、高支部会の方々に御指導を仰ぎながらお手伝いをさせていただいております。

舞女部会運営委員会(総会に代わる)を開催。

日時 平成19年4月29日、午後1時より

場所 舞鶴市民プラザ  
出席者 正副部長3名、委員2名

#### 議事

- 1、庶務、会計報告
- 2、百周年実行委員会19年度第1回会議報告(各支部の進捗状況等)

①式典部会 式典、平成19年10月13日(土)於市民会館記念品を配布する。

②記念誌部会 85周年以後の沿革もまとめ上げる。

③事業部会 校歌碑(西舞鶴高校)を正面玄関に設置。

④祝賀部会 式典の後、会場を西総合会館へ移し祝賀会アトラクションはニューサウンズ、ジャズ、オーケストラ。

前号でお知らせしました樹齢百年近い「舞女の梅」は今年も元気に淡紅色の花を沢山咲かせました。栄養剤を注入し、幹には藁を巻いて手当てして貰ったおかげと嬉しく存じます。

●百歳に近き樹齢をすこやかに「舞女の梅」はなほ咲きつづく

(舞女部会 上羽玉枝)

### 高校部会

高校卒業生は昭和23年の第1回以来、本年度で二万六千九百名を超え、同窓会活動の中核を担っています。

卒業30周年を記念し例年各学年の同窓会が開催され、本年は昭和51年(第28回生)に卒業された方々の同窓会が一月二日舞鶴グランドホテルで恩師、同年生180余名が参加して盛大に開催され、例年に習い多額の記念寄付を同窓会に頂きました。有難うございました。

昭和33年(第10回生)卒「十期の会」が3月8日卒業50周年を記念して舞鶴公園(田辺城跡)にシダレ桜を植樹され、高校部会長として植樹式に参列致しました。

本会報は昭和52年に発刊されてより本年度で31号となります。

昨年30周年を終えられた昭和50年卒業の学年の世話人の方々に編集を担当して頂きました。お世話頂きました皆さん有難うございました。

明治40年京都府加佐郡立高等女学校開校より本年度で百年になります。10月13日に百周年行事が実施されます。

百周年の同窓会行事が盛大に有意義に無事行われるようお願い、皆さんのご協力をお願い致します。

(高校部会 南 房夫)

### 通信制の会

平成18年の夏から、通信制の同窓会長をお引き受けることになりました。卒業以来学校とは疎遠になっておりましたが、同窓会の案内に懐かしさを感じて出席したのがきっかけとなり、前会長から頼まれてお断りもならずにお引き受けした次第です。まだ現役のサラリーマンで、何も出来ませんがよろしくお願い申し上げます。

3月、お招きいただきまして、卒業式に出席させていただきました。仕事柄地域の小中学校の卒業式には何度も出席しましたが、高校のしかも母校の卒業式というのは実に20年振りでした。

全体の式の中でも、挨拶や送辞答辞で通信制の皆さんへのねぎらい、今日までの努力への賞賛を聞くとき、我が事のようにこみ上げる感激がございました。全体の式が終わってから、通信制の教室で一人一人に卒業証書が改めて渡される場に立会い、30代半ばにして卒業証書を手にした私でしたので、お名前と生年月日を聞いて同じような方には特に、改めて今日までの努力に成果というものに感激を覚えました。

自学自習の努力、忍耐、継続は力という言葉の重みを思い起こさせてくれる機会を20年振りに得た思いがしました。そうした仲間が2年に一度一段と広まって同窓会を開催します。疎遠になっていく方、是非一度ご参加下さい。

(通信制の会会長 河野正二)

### 定時制の会

今期も定時制同窓会行事としての動きはありませんでしたので、



(定時制の会会長 植村英人)



# 「応援団」

高二十七回卒業生 田中啓介

この編集委員会の席で現在の西高には応援団が存在しないとのことと聞いた。さらには、応援歌もいま風にアレンジされて、私たち27回卒業組が記憶しているものとはかなり変化しているとのこと。私のように担任の先生の心配をよそに、高三の夏の高校野球を経て秋の体育祭の時期まで応援団に没頭していた者にとっては一抹の寂しさを感ずってしまう。私のクラスは随所に發揮されていた。余談だが、クラス内で4カップル、クラス外の同級生1カップルが結婚しており、その仲の良さを象徴しているのではないかと思う。(ちなみにこれ以上のカップルが出来たクラスをご存知の方は一報下さい。表彰させていただきます。)

そんな雰囲気は周りのクラスにも伝染し応援団の活動に参加してくれた同級生によって盛り上がりを見せた。

応援団というのは、とにかく西高を代表してその競技者の精神的な支えとならなければならないといった意気に感じるものが大きかったことを記憶している。エピソードとして、シンボルである「団旗」はどんなに風が吹こうと大雨になろうと夏の炎天下であろうと、

競技が終わるまでは絶対に掲げ続けなければならないというルールがあり、旗持ちはトイレも我慢して耐え続けるわけである。大風のときに一瞬二人で支えることがあったが、とにかく一人で耐える姿は、この辛さを知っている我々にとって、競技者以上にカッコ良く感じたものである。

さらに、夏の野球の試合では応援団全員が学生服に染み込んだ汗が乾き、塩を噴いた部分が白い波模様となることがあった。とにかくどんな競技であれ、終わるまでは学校を代表して競技者を支えるということに使命感を感じて応援していた。愛宕山の中腹の赤土の所から発する「オス！」の声が高野川沿いのテニスコートにまで聞こえるように発声練習をしていたことや声を囁らして歌った応援歌が懐かしい。

何時の時代になっても、「不易流行」の心を大切に、応援歌を歌い続けて頂きたいと思うのである。



平成18年度の部活動は、生徒数が減少傾向にある中、部員数を確保し一定の成果を上げることが出来ました。全国大会出場はありませんでしたが、1年生部員も多数入部し、19年度、活気あふれるスタートがきれました。次は結果です。全ての種目での「常勝 西舞鶴」の復活を目指さなければなりません。部員、顧問一層精進し頑張ってください。御声援よろしくお祈りいたします。

## 頑張ってます

## 部活動

- \*両丹総体= 総合順位 男子2位 女子4位
- \*バドミントン= IH府下予選学校対抗戦〈男子ベスト8・女子3位〉
- \*バスケットボール= 全国高校選抜優勝大会  
〈京都府予選 出場(男子・女子)〉
- \*ソフトテニス= 全国高校総体京都府予選 〈女子団体3位〉  
個人 奥野・関小田ペアベスト16  
末村・寶来ペア 第5位  
近畿高等学校選手権大会  
奥野・関小田ペア出場  
女子団体 末村・寶来ペア2回戦進出  
全国高校総体 女子個人戦 末村・寶来ペア出場
- \*柔道= 京都高校選手権大会  
男子個人 73kg以下級 肝付ベスト8  
女子個人 大槻穂菜美 準優勝  
足立 茜 3位  
女子団体 ベスト6(近畿大会出場権獲得)  
近畿高校柔道大会 女子個人 大槻・足立出場

- \*バレーボール= 全国高校総体京都府予選 男子ベスト16
- \*テニス= 全国大会京都府予選 団体 男子3回戦 女子2回戦  
京都高校選手権大会二次予選 村尾・川崎  
女子個人ダブルス決勝 田中・辻
- \*放送= NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門  
出場(石間昭裕、品田裕美、藤原玲奈)  
第30回全国高等学校総合文化祭アナウンス部門  
出場(石間昭裕、品田裕美)  
全国高等学校駅伝競走大会閉会式司会  
(石間昭裕、品田裕美)
- \*書道部= 近畿高等学校総合文化祭(村上加奈恵)
- \*吹奏楽= 京都府アンサンブルコンテスト  
サクソ四重奏及びトロンボーン四重奏 銀賞受賞  
第30回全国高等学校総合文化祭 吹奏楽部門出場
- \*写真部= ワンダフル舞鶴写真展 入選
- \*囲碁・将棋= 第30回全国高等学校総合文化祭出場(小宮山舞)  
第26回近畿高等学校総合文化祭A級戦優勝(小宮山舞)

早くから就職担当と担任とが共同歩調で指導し、希望者33名全員が内定をいただくことが出来ました。その内訳を見ますと地元舞鶴指向が強いというのが今年の特徴です。1社に3名の内定をいただく企業も出てきました。求人・採用も含めまして、同窓会の皆様方より一層のお力添えをよろしくお祈りいたします。

進学 238人			就職 33人		
	男	女	計		計
大学	76	63	139		
短大	0	31	31		
専門	24	44	68		
				舞鶴市	
				京都府下	
				阪神	
				その他	
				男	6
				女	4
				計	11
				男	14
				女	5
				計	22



## 母校Report

短大は京都市立看護短大1名、華頂短期大学7名をはじめ合計41名が頑張りました。合格した生徒のほとんどが、日頃の授業を大切に、進学課外にも積極的に参加し、担任との二人三脚で頑張ってきた生徒でした。まさに「努力の西高」を継承、実践した生徒たちです。就職につきましても、景気が回復傾向にあるとはいえ依然として高校生には厳しい現実がある中で、勝ち得ました。私立大学におきましても、近畿大学の18名を筆頭に、立命館大学16名、龍谷大学16名、関西大学9名、関西学院大学8名、京都産業大学7名、仏教大学5名、同志社女子大学5名、同志社大学2名など合計205名(延数)とよく健闘しました。

## 卒業生の進路状況

常日頃は、西舞鶴高校の進路指導につきまして格別の御理解と御協力をいただいておりますことと厚く御礼申し上げます。お陰様で平成18年度におきましても卒業生299名のほぼ全員が希望する進路を実現することが出来ました。進学におきましては、3月末まで入試が続いている現状にあつて最後の最後まで粘り強く担任とともに頑張り抜きました。まず、国公立大学ですが、京都大学1名、大阪大学1名、神戸大学1名、京都教育大学3名、京都府立大学5名、京都府立医科大学1名をはじめ、昨年を8名上回る全部で46名の合格を勝ち得ました。



# 幻の甲子園

野球部元主将 原田 易典 (高二十五回)

「幻の甲子園」と言えば無念を覚えられるかもしれません。30有余年前の昭和47年夏、滋賀県皇子山球場で同県代表の膳所高校に敗れましたが、翌年であれば京都府優勝で甲子園に出場出来たのにと、残念に思うことはありませんでした。ただ敗れた原因が、読んでいた相手の盗塁を阻止出来ず、相手のペースにしてしまったことがキ

ャッチャーの私にありましたので、チームメイト、応援して下さい。多くの方々に大変申し訳なく思っております。



身もこうなりたいと思

って過ごしました。西高と聞くと、野球のボールに触れたいばかりにファールボールを高野川や田んぼにまで、われ先に取りに行ったり、幼稚園時代からの友人とずっと野球をしたこと、小学校、中学校時代の球友が高校時代では敵味方に分かれて試合をしたり、中学校時代に低いと思



く変わりが無いことを確認したり、お正月に監督、部長のご自宅にお伺いしご馳走を頂きながら語りあったりしたこと、そして応援して下さった方々、夜遅くまでご自宅

で勉強を教えて頂いた先生にお礼、感謝は出来ていたのか、静かに見守り、支えてくれた父母の姿が、脈絡も無く瞬く間に頭の中を巡ります。

新チーム結成時、部員が11名で練習時に9名揃わない日もあり、戦力的に甲子園など目指すことが出来るチーム力があつたとはとても思いませんでした。先輩がご心配されて、キャッチボールの仕方から教えて頂いたこともありまし



て下さることが大変有り難く、ともかく監督から指示された練習は、来られる前に必ず済ませておくこと、また生活面ではやんちゃ盛り年頃です。部長の言われることは徹底することが第一と考えてました。練習ではともかく走ることが徹底され、基礎体力が付くと共に、他のチームには走ることが負けていないと思うことが自信に繋がり、相手チームに気後れすること



野守備では京都府下で一番とのテレビ解説を知り、驚きと共に走る。自分がこのように形で評価され大変嬉しかった。そして走る。自分が記録に残る西京極球場での完全試合に結びついたのだと思っております。またこの試合では、我々の到着が遅れ、没収試合になるぞと言われ、練習もせずに試合に臨んだ記憶があります。

平素より西高OBの方々には大変お世話になっており、この場をお借りして御礼申し上げます。野球では地元及び各地で多くの方が指導者として活躍されており、また応援して下さいの方々におかれましては、各界でご活躍されておられますが、「西高」の一言でコミュニケーションが図られ、故郷が目に見えます。今後も西高は故郷、舞鶴の要、絆として有って頂きたいと思ます。後輩の方々の甲子園の夢を託して筆を置かせて頂きます。



京都府立西舞鶴高等学校  
双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
  - 1. 会員 (イ)舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生
  - (ロ)舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生
  - (ハ)西舞鶴高等学校卒業生
  - (ニ)以上の学校に在学したもので入会を希望する者
- 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会に第4条1項に該当する会員による舞女会、舞中会、西高会の3つの部会をおく。
- 第6条 各部および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に下記の役員をおく。
  - 1. 会長 会員の中から総会で選出する。
  - 2. 副会長 各部会において選出された部会長をこれに充てる。
  - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
  - 4. 庶務理事・会計理事 理事の中より各々若干名会長が委嘱する。
  - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
  - 6. 評議員 各会において互選により1名以上選出する。
  - 7. 監査 会員の中から総会で選出する。
- 第8条 役員の仕事は次の通りとする。
  - 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
  - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
  - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
  - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
  - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
  - 6. 評議員は評議員会で必要事項を審議する。
  - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の仕事は2ヶ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
  - 1. 会員名簿および会報の発行
  - 2. 会員の慶弔および慰問
  - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。ただし、必要あるときは臨時総会を開くことができる。総会が開けぬ場合は評議員会の決議を以て之に代えることができる。部会は毎年1回これを開く。
- 第15条 会員は転居、学校卒業、就職、その他身上の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。

高橋 聡子



1938年生まれ  
 西舞鶴高校卒業(高校8回)  
 奈良女子大学文学部史学科卒業  
 舞鶴市文化財保護委員  
 京都府文化財保護指導委員  
 共著に『京都の地名 検証』  
 「舞鶴の歴史 まほろば逍遥」



多くの先輩が各方面で活躍され、毎年著書等を寄贈していただき、その一部を紹介いたします。

先輩より寄贈

平成18年度事業報告

- 平成18年
  - 4月25日(火) 第1回本部役員会  
双鶴同窓会事務局体制の確認  
総会に代わる評議員会について  
双鶴同窓会仮決算報告  
会報30号の発刊について
  - 第8回100周年実行委員会  
記念事業他
  - 6月7日(水) 第2回本部役員会  
理事会・評議員会について  
双鶴同窓会決算報告・監査報告について  
会報30号の発刊について  
創立100周年について
  - 6月10日(土) 同窓会報「双鶴」30号発刊(一般会員向け)  
平成18年度双鶴同窓会本部総会に代わる評議員会  
於 舞鶴グランドホテル  
理事会 29名  
評議員会 議長 小西 千春氏 92名  
記念アトラクション  
「ニューオリンズレッドピーンズ」  
池本 徳和(高校23回) 他  
懇親会 99名
  - 6月24日(土) 双鶴同窓会京都支部総会(5名参加)  
於ホテルグランピア
  - 9月20日(水) 第9回100周年実行委員会  
事業部長による各部会進捗状況について
  - 11月11日(土) 双鶴同窓会東京支部総会(3名参加) 於 プラザエフ
- 平成19年
  - 1月2日(火) 高校28回生卒業30周年記念同窓会 金村会長参加
  - 1月23日(火) 第1回校内役員会  
創立100周年事業について
  - 2月14日(水) 第10回100周年実行委員会  
各部長より進捗状況の報告
  - 3月1日(木) 同窓会報「双鶴」31号発刊(新会員向け)

『双鶴会館』御利用下さい!  
 ★同期会・クラス会・幹事会など同窓生の集合にご利用下さい。  
 ★記念誌・写真・その他会館の資料整備に御協力下さい。  
 ★同期会開催のとき校章旗・同窓会報の必要部数をお申し出下さい。

編集後記

30年ぶりの懐かしい再会から1年半、興奮とほとぼりのようなく冷めた頃、同窓会報誌編集の召集がかかりました。第1回編集会議の席上、見せていただいた去年までの会報に、色々と工夫を凝らされた先輩方のご苦労が偲ばれました。私達も何とか私達らしい企画をと、編集委員一同、色々と相談を重ねました。その中で、私達が西高で過ごした3年間の中でも特別な思い出として今も忘れられない「野球部幻の甲子園」について、当時の野球部主将でいらした原田様に、ぜひお話を伺いたいところ、お話を伺ったところ、お忙しい中、快く引き受けて下さいました。今回、当時の様子を広く同窓の皆様にお伝えできるところを、編集委員一同、とても嬉しく思っております。尚、今回原稿をお寄せくださいました、会長様、理事長様はじめ、諸先輩方、次年度の編集委員の皆様方に深くお礼申し上げます。

編集委員(昭和50年卒業)

- 田中啓介 濱本弥生 御厨伶子
- 川北幸子 藤原忠夫 後 裕之

